



平成23年7月4日

各 位

上場会社名 株式会社 メディアクリエイト
 代表者 代表取締役社長 加藤 博彦
 (コード番号 2451)
 問合せ先責任者 専務取締役 齊藤 哲明
 (TEL 055-929-8560)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成23年1月7日に公表した業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

● 業績予想の修正について

平成23年5月期通期個別業績予想数値の修正(平成22年6月1日～平成23年5月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	3,517	△17	△37	0	0.00
今回修正予想(B)	3,520	△81	△89	△45	△8.78
増減額(B-A)	3	△64	△52	△45	
増減率(%)	0.1	—	—	—	
(ご参考)前期実績 (平成22年5月期)	3,646	△55	△58	△52	△10.15

修正の理由

上期につきましては、余暇産業・外食産業における個人消費の低迷の影響により、新規出店や改装等の初期費用を補うことができず、また、各種販売施策などによりお客様単価が想定額を下回ったことなどにより営業損失80百万円、経常損失88百万円と当初計画を大幅に下回る結果となりました。

下期につきましては、全社的な経費削減を推進し黒字化へ向け取り組んでまいりましたが、3月11日に発生いたしました東日本大震災及び3月15日に発生いたしました静岡県東部(富士宮市)を震源地とする地震の影響で、一時的にカラオケ事業を中心とするお客様数の減少、また、一部店舗での休業などの影響が発生いたしました。しかしながら、上期より継続して実施してまいりました各種販売促進施策により、その他の時期ではお客様数の大幅な増加により、売上高は前回予想から3百万円上回ることとなりました。運営経費につきましては全社的な経費削減目標を達成いたしました。反面マルチメディアカフェ「ゆう遊空間」で提供する「麻雀格闘倶楽部」において、想定外の使用許諾権課金方法の変更により30百万円の経費が発生しました。また消防法改正に伴う設備改修や神奈川県受動喫煙条例への対応などもあり、利益につきましては営業損失・経常損失共に1百万円となりました。通期ではそれぞれ81百万円、89百万円となりました。

また、上期に発生いたしました保険解約益及びTSUTAYA店舗売却益等による特別利益、資産除去債務及びリース解約等による特別損失の計上、繰延税金資産の変動等により、当期純損失45百万円となる見込みであります。

※上記の業績予想は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

なお、平成23年5月期の決算発表は、7月8日(金)を予定しております。

以上